



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2018. 11. 26 No.2295 No.17

Rotary



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長

田代 徳太郎

Tokutaro Tashiro

皆さん、こんにちは。

とうとう県内にも雪の便りが来ました。三条に雪はまだですが、そろそろ冬タイヤへ交換時期が近づいてきます。

本日は第四分区ガバナー補佐の久住様と、地区の副幹事かつR財団委員の三条RC吉井様にお越しいただきました。久住様には12月のガバナー公式訪問の際の事前訪問としてお出でいただいています。久住様、吉井様お忙しい中ありがとうございます。どうぞごゆっくりとお過ごしください。

ガバナー補佐の久住様は、8月27日の例会にも来て頂いています。

昨年、当クラブは第四分区IMを主催しましたが、今年度は久住ガバナー補佐の所属する分水RCが9月にIMを実施されました。IMのテーマは「良寛の慈愛の心にロータリーの誠心を学ぶ」でした。良寛といえば、五合庵。五合庵は国上山の国上寺にあり、この地「分水」に30年近く住んでいました。

良寛は出雲崎の代々名主の家の長男として生まれ、18歳で出家、22歳で岡山の円通寺に赴き修行に励みますが、師と仰ぐ国仙和尚の死後に諸国行脚して越後に戻りました。仮住まいした「寺泊」、定住期間の長かった「分水」、父親の生家があり弟と親交を深めた「与板」、貞心尼と出会い終の住処となった「和島」など、これらは良寛の足跡が数多く残る地域です。多くの和歌や書が残っていますが、自ら著述を残そうとはしなかったため客観的な作品研究が難しいと云われています。

「寺を持たず無欲で清貧、子どもや弱い者に慈愛に満ちた心で接したお坊さん」
「和歌や書、漢詩に当時から高い評価を得ていた」
我々が知る良寛像です。

無欲、清貧、弱者に対する慈愛、誰も真似のできない聖人が良寛なら、さしずめその対極にいるのが、今世間を賑わしている日産のカルロス・ゴーンでしょうか。

報道では100億円を優に超えると推定されるヤミの報酬を得ていたという、疑惑のゴーン氏。

比べて、同じ企業人であっても、経営破綻した日本航空を再建した京セラの創業者稲森和夫氏は、母校の鹿児島大学や京セラの地元京都大学に各20億円を超える私財を寄付しています。

ロータリーに
参加して
楽しもう

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか
どうか

Rotary



国際ロータリー会長
第2560地区ガバナー
第4分区ガバナー補佐
会 長
幹 事
S A A

バリー・ラシン [バハマ]
川瀬 康裕 [三条]
久住 勲夫 [分水]
田代 徳太郎
永桶 俊一
石山 昌宏



インスピレーションに
なるう

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫本店 内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

U R L http://www.sanjo-minami.jp

更に、今から約 30 年前、私財 200 億円を投じて設立した財団では「京都賞」というものがあります。この京都賞というのがスゴイ賞で、山中伸弥教授や本庶佑教授がノーベル賞受賞の数年前に受賞しているものです。他にも、日本の赤崎勇博士と大隅良典博士がそれぞれノーベル賞受賞前に「京都賞」を受賞しています。外国の研究者も同様に受賞者からノーベル賞を輩出しています。

インターネットでみると、稲森さんはあちこちのロータリーに招かれて講演もしています。

ゴーン氏は隠ぺいした資金で将来慈善事業でも始めようと考えたのでしょうか。ロータリーの心である職業倫理とか職業奉仕には無縁の方と思えます。

出席 会員48名中31名

先々週の出席率 88.89% (11/11)

ビジター 第四分区ガバナー補佐 久住勲夫様 (分水RC)

地区R財団 奨学金・VTT副委員長 吉井直樹様 (三条RC)

先週のメイクアップ

11/16 吉田RCへ 太田義人君

11/20 三条北RCへ 金井佐也子さん 永井篤利君 星野健司君 丸山智君

11/22 巻RCへ 熊倉高志君



幹事報告



永桶 俊一 幹事

地区奉仕プロジェクト委員会より 地区大会の御礼とお願い

- ・地区内クラブの協力により、地区大会を無事終了
- ・本委員会は、各クラブ・各分区の奉仕活動への取り組みを期待し、支援体制を継続維持



委員会報告



親睦・プログラム委員 松崎 孝史 会員

忘年家族会のご案内

お子さんやお孫さんにもご出席いただき、楽しく賑やかな“忘年大家族会”を下記の通り開催したいと存じます。

ゲストに歌手“The Mode” 大道芸“ボボちゃんマーちゃん”を……。委員会一同練りに練ったサプライズ企画を準備しお待ち申し上げております。ぜひ、ご家族皆様でお出かけ下さい。多くの皆様のご出席をお願い申し上げます。

と き 2018年 12月 17日 (月) 午後5:45~受付 6:30 開会

ところ GeoWorldVIP The SQUARE ザ・スクエア ☎ 0256-35-1143

会 費 会員：4,000円 ご同伴者：3,000円 お子様：無料

キャンセル 12月14日 (金) 午後5:00までにご連絡下さい
(それ以降会費ご負担いただきます)

ご案内

ザ・スクエアの隣室で“ウェルカムドリンク”の用意がございます。
どうぞお早めにおいでいただき、開会までごゆっくりおくつろぎ下さい





ロータリー財団に ご協力を

地区 R 財団 奨学金・VTT 委員会

吉井 直樹 副委員長(三条RC)

日頃よりのご支援に感謝いたしますとともに、今年度も目標達成に向けてご協力をお願いします。



2017-18 年度の功績に対し、クラブ・バナーが贈られました。

・Every Rotarian, Every Year クラブ

(正会員全員が年次基金へ 25\$ 以上かつ平均寄付額 100\$ 以上に対して。世界で 3,425 クラブが認証)

・100%ロータリー財団寄付クラブ

(正会員全員が年次基金・ポリオ基金・その他補助金等へ合計 25\$ 以上かつ平均寄付額 100\$ 以上に対して。世界で 4,000 クラブが認証)



ニコニコボックス

分水 RC ガバナー補佐の久住です。今後ともよろしく
久住 君 お願い致します。
三条 RC 初めての南RCさんへのメーキャップです。
吉井 君 いろいろとお世話になっていますが、今後とも
宜しくをお願いします。
田代 君 久住様、公式訪問の事前訪問お疲れ様です。
ありがとうございます。
永桶 君 今年もあと36日になりました。来年の6月末
までの出席宜しくお願いします。
馬場 君 本日は三条南へ第四分区ガバナー補佐の
久住先生をお迎えし御指導をいただきます。
よろしくお願いします。

11月26日 ￥13,000

今年度累計 ￥256,000



Niko
Niko
Box!

野崎 君 久住ガバナー補佐を歓迎いたします。
佐藤君、坪井君、銅冶君、丸山(征) 君
BOX に協力します。
齋藤 君 久住様、吉井様、歓迎いたします。
BOX にご協力ありがとうございました。



卓 話

「公式訪問事前訪問」

第 2560 地区

第四分区ガバナー補佐

久住 勲夫 様 (分水RC)

◆川瀬ガバナーの状態について

川瀬ガバナーは、ロータリー活動復帰に向けて療養を続けられており、やや快方に向かいつつあるも、今しばらくは療養に専念戴くことが肝要との状況です。公式訪問はガバナー補佐が代行いたします。

◆公式訪問について

既に I M にてガバナー講話を終了し、R I 会長および川瀬ガバナーの方針は十分に伝わっていると存じますが、公式訪問でもガバナー補佐および地区幹事より丁寧に説明を行いたいと思います。

なお、クラブ協議会の講評、総評は、ガバナー補佐が代行いたします。各位には、ご理解とご協力をお願いします。



【三条南クラブ公式訪問】

2018年12月10日(月) 於：三条ロイヤルホテル 2階

●会長幹事懇談会

●ガバナー卓話

- 1、川瀬ガバナー休養に際しての対応説明——久住勲夫 ガバナー補佐
- 2、川瀬ガバナー地区モットー講演(ビデオ上映)
バリー・ラシンR | 会長テーマ講演
- 3、川瀬年度、地区幹事より説明——関川 博 地区幹事
 - ・川瀬ガバナーモットー補足説明
 - ・ロータリー創立100周年を祝う鐘
 - ・地区事務所設立説明

●クラブ協議会

各委員会の発表の後、ガバナー補佐より総評、アドバイス等を行います。

質問は、ガバナー不在のため事務的な事以外は対応できません。ご理解とご協力をお願いします。

◆認知症支援について

日本では、2025年に65歳以上の5人に1人が認知症になると言われており、今後、認知症の悩みを抱える人が増えていくことが予想されます。

今年度の重点として、燕RCでは「認知症サポーター講座」を実施し、分水RCでは認知症に関する映画上映会を開催するなど、近隣クラブにおいても認知症支援の取り組みを行っています。

＊オレンジリングのご紹介——

- ・認知症サポーターキャラバンが開催する「認知症サポーター講座」を受講し、認知症サポーターとなった際に渡されるオレンジ色のリストバンドです。
- ・養成講座を実施する主体には、自治体と企業団体の2通りがあり、頻繁に講座が開催されており、受講者は現在およそ850万人近くまで増えています。
- ・認知症サポーターには、特別な何かをやらなければならないという義務はありません。ただ「認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族をサポートできるような資質を保持して、自分のできる範囲で活動すること」を目的としています。友人や家族に知識を伝えたり、まちの一員として身近な商店や交通機関などで手助けをしたりするなど活動内容はさまざまです。

(出典：<https://www.senior-anshin.com/news/ninchi/20170224/>)

◆クラブの活動について

各々のクラブが会員増強して活動を活発化しようと努力されています。我が分水RCでは、今年度30代の若い会員が2名入会して、若い力で活気が出る一方、高齢会員にはIT時代についていけないなどの声もあり、前期終了とともに70代が2名退会することになっており、差し引きは変わらずという現状です。これは他のクラブでも散見される現象で、ロータリークラブも過渡期にあるといえるのかもしれませんが。

一方、吉田RCは会員30名中12名が80代、平均年齢は76歳の高齢クラブですが、活動は活発で積極的にロータリーに参加して楽しんでおられます。それぞれのクラブで、ロータリーに参加して楽しむ活動を進めていただければと思います。



◆ 会員誕生	3日	吉沢栄一君	11日	鈴木園彦君
	25日	大溪秀夫君	31日	金井佐也子さん
◆ 夫人誕生	6日	布施久美子(純也)さん	19日	坂井洋子(範夫)さん
	22日	渡辺由美(俊明)さん	23日	坂本満寿子(洋司)さん
◆ 結婚記念	25日	野水孝男君・智恵子さん		

＊おめでとうございます＊